



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月29日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6954 URL <https://www.fanuc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	386,473	△ 22.1	68,614	△ 48.8	79,704	△ 47.1	56,522	△ 56.1
2019年3月期第3四半期	496,112	△ 7.4	134,101	△ 20.8	150,537	△ 18.9	128,751	△ 5.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 49,060百万円(△59.9%) 2019年3月期第3四半期 122,484百万円(△25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	294.07	—
2019年3月期第3四半期	664.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,503,103	1,355,634	89.7
2019年3月期	1,625,340	1,445,146	88.5

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 1,347,774百万円 2019年3月期 1,437,775百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	598.19	—	404.92	1,003.11
2020年3月期	—	125.35	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当252円87銭 特別配当345円32銭

(注) 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当224円34銭 特別配当180円58銭

(注) 2020年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	506,700	△ 20.3	80,600	△ 50.6	91,900	△ 49.9	65,900	△ 57.3	343.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「3. 注記事項に関する情報 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	204,031,841株	2019年3月期	204,040,771株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	12,131,377株	2019年3月期	10,210,522株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	192,206,650株	2019年3月期3Q	193,835,133株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。なお、2020年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
3. 注記事項に関する情報 .....	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から12月31日まで)における当社グループの業績は次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界において、米中貿易摩擦の影響により中国市場での機械需要が落ち込んだほか、中国市場に大きく依存している台湾でも機械需要が落ち込みました。韓国や比較的堅調であったインドも自動車を中心とした内需の弱さ等により、低調に推移しました。欧州と日本国内についても、設備投資抑制の動きを受け、需要が落ち込みました。世界的に、航空宇宙、医療、建材等、堅調な分野も見られますが、機械需要への影響が大きい自動車関連への投資が冷え込んでいる状況です。レーザについては、拡販に努めましたが、海外メーカーとの競争がさらに厳しさを増しています。これらの結果、FA部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボット部門については、国内は自動車産業向け、一般産業向けともに売上が増加し、米州においても堅調に推移したものの、中国および欧州においては、自動車産業向け、一般産業向けともに売上は低調に推移しました。これらの結果、ロボット部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボマシ部門については、ロボドリル(小型切削加工機)において、拡販に努めたものの自動車部品市場などが減速したことで、IT関係の一時的な需要が残っていた前年同期と比べると売上が落ち込みました。ロボショット(電動射出成形機)については、自動車部品、医療市場向けに拡販に努めましたが、売上は若干減少しました。ロボカット(ワイヤカット放電加工機)についても、中国市場を中心に売上が減少しました。

このようななか当社グループは、中長期的な視点に立った経営を続けるべく、「one FANUC」、「壊れない」「壊れる前に知らせる」「壊れてもすぐ直せる」および「サービスファースト」をスローガンに掲げ、当社商品およびサービスを通じて、信頼性・保守性が高く効率的・先進的な生産体制をお客様が安心して構築・維持できるようにするための取り組みをグループ一丸となって推進しております。またIoTへの対応として、製造現場のオープンプラットフォームであるFIELD system(FANUC Intelligent Edge Link and Drive system)を自社工場へも導入し、機能拡張およびアプリケーション(パートナー企業製を含む)の充実を図るとともに、AI技術の当社商品への適用等を進めております。そして、CNC、ロボット、ロボマシンの融合のさらなる推進も、重要な取り組みの一つとして掲げております。商品競争力の強化、セールス・サービス活動の強化ならびに工場の自動化・ロボット化に力を入れる一方、全社で経費削減や労働時間削減・業務の合理化に取り組み、緊急性・必要性に応じて設備の導入計画を見直すなど、現在の厳しい市場環境のなか、地道に企業体質強化を図っております。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が3,864億73百万円(前年同期比22.1%減)、経常利益が797億4百万円(前年同期比47.1%減)となりました。四半期純利益は、遊休資産に係る減損損失を特別損失に計上したこと等により、565億22百万円(前年同期比56.1%減)となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、FA部門が1,094億12百万円(前年同期比34.4%減)、ロボット部門が1,525億2百万円(前年同期比8.8%減)、ロボマシン部門が579億67百万円(前年同期比38.1%減)、サービス部門が665億92百万円(前年同期比2.9%減)でした。

※ [当四半期決算に関する定性的情報]における「四半期純利益」は、損益計算書における「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。(当期純利益もこれに準じます。)

## (2) 連結財政状態に関する説明

資産合計は、前年度末比1,222億37百万円減の1兆5,031億3百万円となりました。

負債合計は、前年度末比327億25百万円減の1,474億69百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比895億12百万円減の1兆3,556億34百万円となりました。

なお当社は、当社の株主還元方針(2019年4月24日公表の2019年3月期決算短信に記載)に基づき、発行済株式総数の5%を超える自己株式(8,930株、88百万円)を2019年5月31日付で消却いたしました。(本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。)

## (3) 連結業績予想に関する説明

国家間等の貿易摩擦の影響を含む各国の通商政策や為替動向、地政学的リスクなどの様々な不透明な要因から、総じて予断を許さない状況が続くものと思われます。

現時点での2019年度(2020年3月期)の連結業績予想は以下のとおりです。

通期

(金額：百万円)

	前回発表予想 (2019年10月28日発表)	今回発表予想	増減率
売上高	504,500	506,700	0.4%
営業利益	69,100	80,600	16.6%
経常利益	80,500	91,900	14.2%
当期純利益	57,900	65,900	13.8%

注) 2020年1月から2020年3月までの期間における為替レートは、平均100円/ドル、115円/ユーロを想定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	607,155	392,973
受取手形及び売掛金	106,204	95,214
有価証券	15,000	126,700
商品及び製品	71,042	65,094
仕掛品	55,174	52,787
原材料及び貯蔵品	29,930	25,715
その他	24,302	9,912
貸倒引当金	△1,123	△950
流動資産合計	907,684	767,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	301,179	310,750
土地	145,885	146,787
その他（純額）	127,512	139,533
有形固定資産合計	574,576	597,070
無形固定資産	9,603	9,721
投資その他の資産		
投資有価証券	86,674	86,262
その他	47,259	43,057
貸倒引当金	△456	△452
投資その他の資産合計	133,477	128,867
固定資産合計	717,656	735,658
資産合計	1,625,340	1,503,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,567	29,730
未払法人税等	15,007	5,271
アフターサービス引当金	8,215	8,654
その他	75,278	57,515
流動負債合計	135,067	101,170
固定負債		
退職給付に係る負債	42,097	42,358
その他	3,030	3,941
固定負債合計	45,127	46,299
負債合計	180,194	147,469
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,265	96,265
利益剰余金	1,380,439	1,334,332
自己株式	△91,040	△126,796
株主資本合計	1,454,678	1,372,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,111	9,639
為替換算調整勘定	△6,677	△17,170
退職給付に係る調整累計額	△19,337	△17,510
その他の包括利益累計額合計	△16,903	△25,041
非支配株主持分	7,371	7,860
純資産合計	1,445,146	1,355,634
負債純資産合計	1,625,340	1,503,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	496,112	386,473
売上原価	285,487	246,931
売上総利益	210,625	139,542
販売費及び一般管理費	76,524	70,928
営業利益	134,101	68,614
営業外収益		
受取利息	3,087	2,958
受取配当金	1,365	1,260
持分法による投資利益	11,235	6,756
雑収入	3,764	1,923
営業外収益合計	19,451	12,897
営業外費用		
固定資産撤去費用	1,616	822
為替差損	—	471
雑支出	1,399	514
営業外費用合計	3,015	1,807
経常利益	150,537	79,704
特別利益		
厚生年金基金代行返上益	25,081	—
特別利益合計	25,081	—
特別損失		
減損損失	—	1,973
特別損失合計	—	1,973
税金等調整前四半期純利益	175,618	77,731
法人税、住民税及び事業税	41,035	17,878
法人税等調整額	5,507	2,387
法人税等合計	46,542	20,265
四半期純利益	129,076	57,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	325	944
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,751	56,522



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	129,076	57,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,423	528
為替換算調整勘定	956	△7,009
退職給付に係る調整額	1,997	1,827
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,122	△3,752
その他の包括利益合計	△6,592	△8,406
四半期包括利益	122,484	49,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,186	48,384
非支配株主に係る四半期包括利益	298	676

### 3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2019年4月24日、2019年7月29日および2019年10月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,923,000株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取りによる増加等を含め、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が35,756百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は126,796百万円となっております。